

令和6年度の変更点について

○インターハイ・関東大会の変更点の連絡とそれについての県内大会

1 令和6年度関東大会・インターハイから、「ノーレット」が採用になります。

⇒ 群馬県の大会では採用しません

2 令和6年度インターハイよりダブルス（8ゲームマッチ・3セットマッチ）は、「ノーアド」方式になります。

⇒ 群馬県はインターハイ予選の準決勝・決勝（8ゲームマッチ）で、採用します。

※参考

インターハイのダブルスは、1回戦から8ゲームマッチになります。（シングルスは1・2回戦が1セットマッチです。シングルスと団体戦では「ノーアド」方式を採用しません。）

○群馬県高体連テニス専門部からの提案

令和6年度からの個人戦（高校総体・新人大会）の申込み人数の制限の撤廃

参考（令和5年度まで）

○高校総体個人戦 新人大会本戦出場者 + S：16本 D：15組

○新人大会個人戦 県高校総体本戦選手 + S：16本 D：2年生フリー・1年生8組まで

新入生（1年生）の高校総体個人戦の参加資格の追加

（別紙 「令和6年度新入生の高校総体個人戦参加資格について」参照）

「6 中学校でソフトテニス部に所属し、個人戦・団体戦で県大会に出場した生徒」を追加

（ただし、テニスのルールを理解し、セルフジャッジで審判が行えることを条件とします）

個人戦の地区配分の変更（別紙参照）

令和6年3月8日

群馬県高体連テニス専門部